

〔薬局調剤〕

8 調剤行為の状況

1件当たり点数は 1,049.2 点で、前年に比べ 35.7点、3.5%増加している。

処方せんの受付1回当たり点数は 802.5 点で、前年に比べ 33.7 点、4.4%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」591.5 点が最も高く、次いで「調剤技術料」172.2 点、「薬学管理料」37.5 点となっている。

1件当たり受付回数は1.31 回で、前年に比べ0.01 回減少している。(表10、図14)

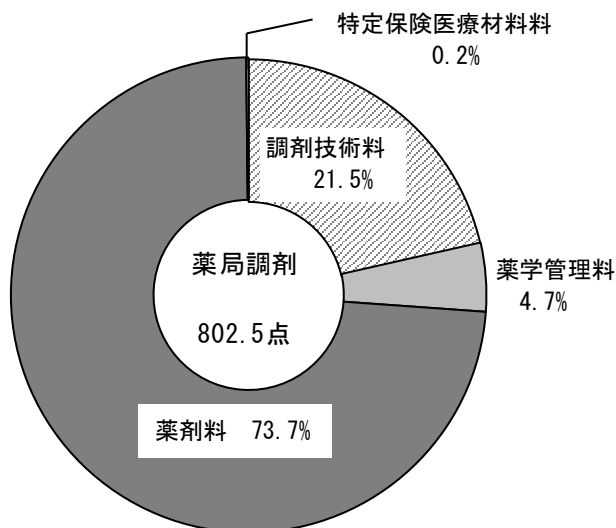
表10 調剤行為別にみた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

(各年6月審査分)

調 剤 行 為	平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	対 前 年	
			増減点数	増減率(%)
1 件 当 た り 点 数				
総 数	1 049.2	1 013.5	35.7	3.5
調 剤 技 術 料	225.1	224.4	0.8	0.3
薬 学 管 理 料	49.1	50.0	△ 1.0	△ 2.0
薬 剤 料	773.3	736.1	37.1	5.0
特定保険医療材料料	1.7	2.9	△ 1.2	△ 40.8
受 付 1 回 当 た り 点 数				
総 数	802.5	768.8	33.7	4.4
調 剤 技 術 料	172.2	170.2	2.0	1.2
薬 学 管 理 料	37.5	38.0	△ 0.4	△ 1.2
薬 剤 料	591.5	558.4	33.0	5.9
特定保険医療材料料	1.3	2.2	△ 0.9	△ 40.3
1 件 当 た り 受 付 回 数				
	1.31	1.32		

図14 調剤行為別にみた受付1回当たり点数の構成割合

(平成23年6月審査分)



9 一般医療と後期医療別にみた調剤行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 917.3 点、後期医療 1,439.9 点、受付1回当たり点数は、一般医療 719.6 点、後期医療 1,025.5 点となっており、いずれも後期医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、「薬剤料」の割合が一般医療 72.4%、後期医療 76.1%となっている。

年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて1件当たり点数、受付1回当たり点数ともに高くなっている。(表11、図15・16)

表11 一般医療 - 後期医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	総数	一般医療	後期医療	年齢階級				
				0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
1 件 当 たり 点 数								
総数	1 049.2	917.3	1 439.9	535.9	715.7	1 036.7	1 210.5	1 421.2
調剤技術料	225.1	204.2	287.2	194.7	174.6	207.8	232.6	285.4
薬学管理料	49.1	47.2	54.5	57.2	43.5	44.1	47.6	54.4
薬剤料	773.3	664.2	1 096.4	283.7	496.7	782.2	927.9	1 079.9
特定保険医療材料料	1.7	1.7	1.7	0.2	1.0	2.6	2.4	1.5
受 付 1 回 当 たり 点 数								
総数	802.5	719.6	1 025.5	378.4	586.0	839.0	946.0	1 016.4
調剤技術料	172.2	160.2	204.5	137.5	143.0	168.2	181.8	204.1
薬学管理料	37.5	37.0	38.8	40.4	35.6	35.7	37.2	38.9
薬剤料	591.5	521.1	780.8	200.3	406.7	633.0	725.1	772.3
特定保険医療材料料	1.3	1.4	1.2	0.2	0.8	2.1	1.9	1.1
1 件 当 たり 受 付 回 数								
	1.31	1.27	1.40	1.42	1.22	1.24	1.28	1.40

図15 一般医療 - 後期医療別にみた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合

(平成23年6月審査分)

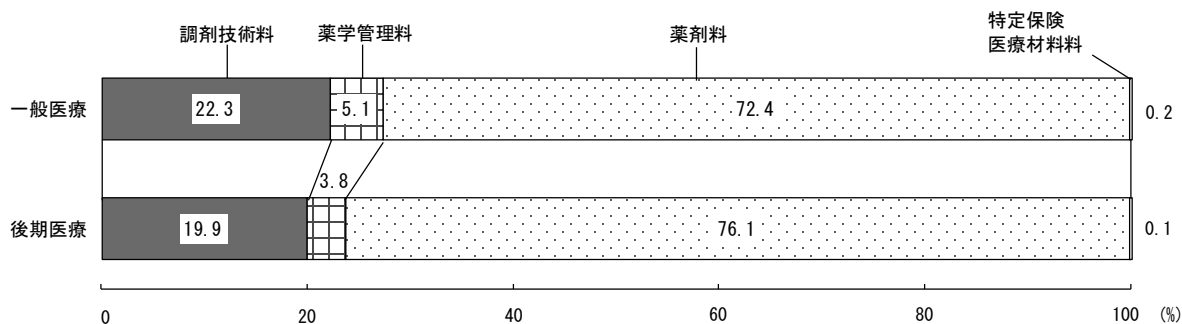


図16 年齢階級別にみた調剤行為別受付1回当たり点数

(平成23年6月審査分)

